

不動産会社とオーナーのための

『社長の税金』

ワンポイントアドバイス ⑳

落合会計事務所

算

利益は出ているが、お金は貯まらない。なぜこのようなことが起こるのだろうか。それは、「利益」と「資金繰り」の考え方が以下のように違っていることが原因である。

①「利益」≡損益計算書(P/L)上で、実現主義、発生主義により計

②「資金繰り」≡実際の現金預金の増減

そのために、掛取引(売上、仕入など)があると、その月に利益が出てても、実際に利益分の現預金は増加しないことがある。

資金繰りの悪化の原因は、①利益の減少(売上減、コストアップ)②売上債権の増加(売掛金な

どの増加)③仕入債務の減少(買掛金などの減少)④在庫の増加(現金化されずに寝ている状況)⑤借入金返済——などが考えられる。

資金繰りを改善するポイントは、①売上債権の早期回収、つまり回収サ

イトを短くするか前受金

(着手金)を受領する②仕入債務の支払期日の長期化③ファクタリング(売上債権の現金化)④裏書手形の活用。支払資金を用意しなくてよい⑤在庫の削減、売れ残り在庫はセールなどで現金化する⑥借入などによる資金調達——などである。

このほかにも、毎月の固定費を削減する、設備投資にはリースを活用する、といった方法も資金繰りの助けとなる。

資金繰りを改善するためには、「資金繰り予定表」を作成し、今後の資金繰りを事前に理解しておくことが必要だ。

資金繰り予定表には決まった書式はないので、会社に合ったものを使用すればよい。その際は、「前月繰越」「入金」「出金」「次月繰越」の4項目は最低限必要となる(上表)。

3カ月程度先までの予定を立てると効果的である。予定と実際の残高を比較し、どこに問題があるのかを毎月確認することが出来る。

これを継続することで、いつ資金が不足するのかが事前に把握でき、その後の対応が取りやすくなる。(北岡 慧太)

日付	摘要	予定			実際の残高
		入金	出金	残高	
	前月繰越			1,000,000	1,000,000
1	諸経費支払い		10,000	990,000	950,000
5	リース料支払い		50,000	940,000	900,000
10	買掛金支払い		400,000	540,000	450,000
15	売掛金回収	160,000		700,000	650,000
20	買掛金支払い		100,000	600,000	550,000
30	借入金返済		100,000	500,000	450,000
	次月繰越			850,000	820,000

【個人の税金編】「利益=現預金の増加」ではない 資金繰り予定表の作成を